

田口佳史さんに問う中国古典 【陽明学入門】



講師

東洋思想研究家
株式会社イメージプラン代表取締役社長

田口 佳史 Yoshifumi Taguchi

自分を鼓舞し、心の底からやる気を湧き起こす覚醒の学

王陽明が説いた「陽明学」は、朱子学と並び、近世の新儒学を代表する思想です。当時の明は、内憂外患が絶えない困難な状況にありました。こうした時代に生まれた「陽明学」は、現在は危機的状況にあるという認識の上に立ち、世を憂う警世・憂国の学として知られています。

人間は成長や繁栄を追い求めるうちに、いつの間にか富・地位・名声等々に身心を絡め取られてしまうものです。そこから抜け出すためには、

時代の本質を読み解き、自己を覚醒させるための思想哲学が必要です。

大転換期を迎えているいまこそ、仕事や日常生活の中での実践を重視する「陽明学」を学ぶことで、自分自身を鼓舞し、心底から湧き上がるやる気を呼び覚ますことができますはず

田口 佳史

4/4月

第1回

18:30～21:30

王陽明の人物と 思想を知る

王陽明は官僚であると同時に軍略家でもありました。軍人としての経験は、陽明学が「行動の学」と称される要因のひとつでもあります。彼の人生を追うことで、陽明学確立に至る思想的変遷を考えます。また「心即理」「知行合一」「知良致」など陽明学思想の真意を把握し、朱子学との対比から陽明学の特徴を理解します。

4/18月

第2回

18:30～21:30

『伝習録・中巻』一抜本 塞源論一を読む

陽明学は「良知の学」だと言われます。その真髄を最もよく表しているのが『伝習録・中巻』の一部である抜本塞源論です。病弊の本となっている「根本を抜き」、悪弊が流れ出ている「淵源を塞ぐ」ことを意味するこの名論文を通して、陽明学の今日性を認識します。

5/9月

第3回

18:30～21:30

『伝習録・下巻』を読む その1

『伝習録』は下巻から読めと言われています。下巻は、「良知の学」を確立した後の王陽明と弟子門人との問答集ですが、問答を通して彼の思想が明確に主張されており、理解しやすいのがその理由です。「良知の学」を自家薬籠中の物とした王陽明の言葉を読み解き、陽明学の要点を学びます。

5/23月

第4回

18:30～21:30

『伝習録・下巻』を読む その2

学問は、その核心に迫れば迫るほど応用が効くものです。陽明の思想の中核に何があり、それがどのように表現されているか。更には、思想の実践が、現実の社会生活にどうやって活かされていくのか。王陽明と弟子門人達との縦横無尽の問答を通して、日常生活の中での実践を重視する陽明学の真髄に迫ります。

6/6月

第5回

18:30～21:30

『伝習録・上巻』を読む

初期の思想は若く未熟であるゆえに、新鮮でみずみずしくもあります。『伝習録・上巻』は、王陽明の比較的初期の思想が語られています。陽明学の真髄を理解した後に、初期の考え方をすることで、彼の思想がどのように発展確立したのかを垣間見ることができます。それは陽明の学の根本を知ることであります。

6/20月

第6回

18:30～21:30

王陽明の「良知の学」と 現代社会

いま、陽明学＝「良知の学」の何が人々の心を打つのでしょうか。そして、陽明学がどのように現在の私たちの社会生活に役立つのでしょうか。講座のまとめとして、王陽明と弟子門人達の問答を真似て、講師と参加者の問答形式で考えてみます。

王陽明と陽明学

王陽明は、中国明朝の中期(1472年)に生まれました。苦勞して科挙を通り官僚になりましたが、宦官の専横を批判して僻地に流されるなど、自ら艱難辛苦の道を選びました。生涯を通して厳しく自己反省を重ね、陽明学を打ち立てました。その思想は『伝習録』等にまとめられています。

『伝習録』・抜本塞源論

王陽明の『伝習録』は上・中・下三巻から構成されますが、中巻にある「顧東橋に答ふる書」は抜本塞源論とも呼ばれています。王陽明が最晩年に書いたもので、次代に向けた強い思いが込められていると言われていています。本講座では、陽明学の要諦として、『伝習録』を抜本塞源論から読み始めます。

開 催 概 要

日 程	2016年 4/4、4/18、5/9、5/23、6/6、6/20 (すべて月曜日)
回 数	6回
時 間	18:30-21:30 (3時間)
定 員	25名
会 場	慶應丸の内シティキャンパス
参加費	108,000円(消費税8%込)
お 勧 め し たい 方	・中国古典の思想・考え方をビジネスや人生に役立てたい方 ・生きる上での哲学や価値観の重要性を認識し、醸成したい方

講 師 プ ロ フ ィ ー ル

田口 佳史(たぐち よしふみ)

1942年東京生まれ。新進の記録映画監督として活躍していた25歳の時、タイ国バンコク市郊外で重傷を負い、生死の境で「老子」と出会う。奇跡的に生還し、以降中国古典思想研究四十数年。東洋倫理学、東洋リーダーシップ論の第一人者。企業、官公庁、地方自治体、教育機関など全国各地で講演講義を続け、1万名を超える社会人教育の実績がある。1998年に老荘思想的経営論「タオ・マネジメント」を発表、米国でも英語版が発刊され、東洋思想と西洋先端技法との融合による新しい経営思想として注目される。

●主な著書

『孫子の至言』『老子の無言』『論語の一言』『ビジネスリーダーのための「貞観政要」講義』
※慶應MCCで過去に開催された講座の講義内容が書籍になりました。(すべて光文社)

FAX申込書 FAX 03-5220-3129

必要事項をご記入の上、FAXにて送信して下さい。

※お申し込みの際は末尾のキャンセル規定・諸注意を必ずお読み下さい。本申込書の受領をもって、その内容を承諾いただいたものと見なします。

インターネットでのお申し込みは

<http://www.sekigaku-agora.net/>

参加者

講座名	<input type="checkbox"/> agoraメンバーシップに申し込む	
会社・団体名		
所属		
フリガナ		
氏名		
住所 (資料送付先)	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 (いずれかにチェックを入れて下さい) 〒	
TEL	-	-
FAX	-	-
e-mail		

■キャンセル規定・諸注意

キャンセルのお申し出をされた場合、下記規定に基づいてキャンセル料をお支払いいただきます。いかなる場合も、参加費のお支払いのないことをもってキャンセルとはなりません。キャンセルの際は必ずご連絡下さい。◆開講28日前まで：キャンセル料は発生しません。◆開講27日～21日前まで：参加費の30%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講20日～14日前まで：参加費の50%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講13日前以内：参加費の全額をキャンセル料としてお支払いいただきます。ただし、当方の都合で開催を中止する場合は全額返金いたします。また、お申し込み日を含む8日間以内にキャンセルのご連絡をいただいた場合は、開講までの日数にかかわらずキャンセル料は発生しません。

個人情報の取扱いについて(必ずお読みください)

ご参加のお申し込みにあたり、お客様から氏名、住所等の個人情報のご提出をお願いしております。以下のサイトをご確認の上、ご同意いただける場合のみ、個人情報のご提出をお願いします。また、お申し込みをもって下記にご同意いただいたものとみなします。

<https://www.keiomcc.com/privacy.html>

なお、Webを見ることができない場合、または上記に関するご質問等ございましたら、右記までお問い合わせください。

支払方法

支払名義	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 法人
支払方法	<input type="checkbox"/> 銀行振込(振込手数料ご負担下さい) <input type="checkbox"/> クレジットカード

割引制度(個人申込のみ)

<input type="checkbox"/> 複数申込割引 この欄に他講座を記入して下さい []
<input type="checkbox"/> 継続受講割引
<input type="checkbox"/> 慶應カード割引

■割引制度(個人)

【複数申込割引】…一度に複数の講座へお申し込みされる場合、参加費を最大20%割引いたします。慶應MCCで開催する「知的基盤能力プログラム」や「先端・専門プログラム」との組み合わせも対象となります。(「夕学五十講」を除く。)
◆20%割引:108,000円(税込)以上の、「agora」および「知的基盤能力プログラム」を複数同時に申し込んだ場合
◆10%割引:上記以外の講座・プログラムを複数同時に申し込んだ場合
【継続受講割引】…過去慶應MCCの講座・プログラムに参加し、終了日より1年以内にお申し込みをされた場合、参加費を10%割引いたします。(「夕学五十講」を除く。)過去に法人名義で参加された方も、個人で申し込む場合は対象となります。
【慶應カード割引】…慶應カード会員の方が個人でお支払いいただく場合に限り、参加費を10%割引いたします。慶應カードとは、慶應義塾とクレジットカード会社との提携クレジットカードです。塾員・教職員および学生を対象としています。

■割引制度(法人)

「agora」およびビジネスプログラムへ一度に5名以上派遣される場合、合計人数に応じて参加費を割引いたします。(「夕学五十講」を除く。)詳しくは下記までお問い合わせ下さい。 ※一部適用されない場合がございます。

〈お問い合わせ先〉

東京都千代田区丸の内2-5-2
三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会 TEL:03-5220-3111
E-mail:info@keiomcc.com

今後慶應MCCより各種情報をご案内させていただきます。ご不要の方は右記にチェックをお願いします。